

授業科目名: 子どもの英語活動Ⅱ	単位数: 1単位	担当教員名: 村端 佳子
科目番号: KYO208	担当形態: 単独	開講時期: 2年後期
オフィスアワー: 授業の前後の時間(メール等でアポイントを取ること。)		
<p>1. 授業の到達目標・テーマ</p> <p>前期「子どもの英語活動1」で学習した指導概論と基礎的な教室英語及び英語活動を基に本講座では実践的な指導法の習得を目標とする。具体的にはレッスンプランや学期及び年間シラバス作成の仕方、授業評価法などを学ぶと同時に、多くの模擬授業を通じて実践的なスキルを伸ばすことを目指す。</p> <p>○本演習は、学科のディプロマポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている、6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている、基礎的な英会話を身につけている。」を育成する科目として配置している。</p>		
<p>2. 授業概要</p> <p>現在小学校の外国語活動で使用されているテキスト「Hi, friends! 1&amp;2」を使用し、実際の教材に即した単元計画(レッスンプラン)や学期及び年間計画(シラバス)について学び、それぞれに該当する評価法も学習する。各指導や活動に必要な教室英語の学習も並行して行う。また単元ごとに模擬授業を行い、自己評価、学生間評価、及び教師による評価を通じて、自己の授業スキルを客観的に分析し改善する力を身につける。本講座は講義と実践にほぼ均等に時間を配分し、評価もそれぞれに対して行う。授業形態は、演習とする。</p>		
<p>3. 授業計画</p> <p>第1回:オリエンテーション</p> <p>①「子どもの英語活動Ⅰ」に関する復習</p> <p>②「子どもの英語活動Ⅱ」シラバスの説明</p> <p>③教室英語の復習</p> <p>第2回:概論</p> <p>①単元計画、年間計画に関する概論</p> <p>②評価法に関する概論</p> <p>第3回:概論と実践</p> <p>①単元計画の分析(Hi, friends!1, Lesson 1-4)</p> <p>②単元計画に含まれる活動及び評価法の実践</p> <p>③ふりかえり</p> <p>第4回:概論と実践</p>		

①単元計画の分析(Hi, friends!1, Lesson 5-9)

②単元計画に含まれる活動と評価法の実践

③ふりかえり

第5回:概論と実践

①単元計画の分析(Hi, friends!2, Lesson 1-3)

②単元計画に含まれる活動と評価法の実践

③ふりかえり

第6回:概論と実践

①単元計画の分析(Hi, friends!2, Lesson 4-6)

②単元計画に含まれる活動と評価法の実践

③ふりかえり

第7回:概論と実践

①単元計画の分析(Hi, friends!2, Lesson 7-8)

②単元計画に含まれる活動と評価法の実践

③ふりかえり

第8回:復習

①学期前半で学んだことを復習する

②まとめて発表する

第9回:実践

①模擬授業 #1

②模擬授業 #2

③フィードバックセッション

第10回:実践

①模擬授業 #3

②模擬授業 #4

③フィードバックセッション

第11回:実践

①模擬授業 #5

②模擬授業 #6

③フィードバックセッション

第12回:実践

①模擬授業 #7

②模擬授業 #8

③フィードバックセッション

第13回:実践

- ①模擬授業 #9
- ②模擬授業 #10
- ③フィードバックセッション

第14回:概論

- ①授業実践に必要なスキル
- ②モデル授業分析
- ③授業実践に役に立つリソース

第15回:復習

- ①学期後半で学んだことを復習する
- ②講座を通して学んだことをまとめて発表する
- ③今後の課題について話し合う

定期試験

4. テキスト

- ・Hi, friends!1 & 2

5. 参考書・参考資料等

テキストと併用する教材、及び資料は、その都度作成して配布する。

6. 事前・事後学習(事前・事後学習として週2時間以上行うこと。)

- ・該当資料を授業中に指示するので、次回の授業までに読んでおく。
- ・授業で学んだことを実践に結びつけるようにまとめておく(ワークシートの活用)。
- ・模擬授業の準備と振り返り

7. 学生に対する評価:

- ・定期試験30% クラスワーク(活動への参加、課題提出、小テスト等)30% 模擬授業40%

8. その他

クラス分けの基準は、習熟度による。